

「帰ってきた！高崎山サル博士検定」 を実施しました！

高崎山自然動物園や、高崎山、ニホンザルに関する筆記試験とニホンザルの個体識別をしていただく試験を令和5年1月14日に実施しました。

得点に応じた称号を付与いたしました。



挑戦して
みてね！

高崎山サル博士検定問題

初回問題一部抜粋です。あなたは何問とけるかな…？

問① ニホンザルは夜どのようにして眠るでしょうか？

- ①土に穴を掘って眠る
- ②木の葉を取ってきて敷き詰めたベッドで眠る
- ③木の上で眠る
- ④洞穴で眠る

問② ニホンザルは食べ物を貯める場所を体に持っていますが、何というのでしょうか？

- ①ほほふくろ
- ②はらふくろ
- ③せふくろ
- ④ぐちふくろ

問③ 高崎山のニホンザルのおすは明確な順位が存在しますが、この順位はどのような順でしょうか？

- ①力（腕力）の強さ
- ②メスザルからの支持
- ③統率力
- ④群の中での在籍年数

問④ ニホンザルの体毛について正しい記述はどれでしょうか？

- ①体毛は年に1回生え変わります
- ②体毛は年に2回生え変わります
- ③体毛は一生、生え変わりません
- ④子ザルは年2回、オトナは年1回体毛が生え変わります

全部解けたかな？答えは中面にあるよ！



★大分市内の小学生・中学生は入園無料です。学生証などを見せて入園してください。

高崎山通信

-Takasakiyama Public relations magazine-

ご意見・ご要望をお待ちしています。



高崎山自然動物園 TEL:097-532-5010 FAX:097-536-2500 E-mail: info@takasakiyama.jp



皆さんの撮影したステキなお写真で表紙を飾ってみませんか？
なお、お写真・データはお返しできませんので、ご了承ください。
見てみて！
スタッフブログ・フェイスブック・Instagram・Youtubeで
高崎山自然動物園のサルの出来事を紹介しています。



2023. 集合
No.4



B群第1位 やクイです。



C群「シャーロット」と「ヨッシー」

2015年の第1号赤ちゃんザルで現在7才になったC群「シャーロット」。

2020年にシャーロットは同じ群の「ヨッシー」に初めて恋をしました。その時は一途に思い続けましたが振り向いてもらえず…。

そして2021年は誰を好きになるのかと思っていたら、またしても「ヨッシー」でした。

3度目の恋の季節を迎えた2022年は誰を好きになるのでしょうか?非常に気になるところです。

さて、シャーロットが毎年好意を抱く「ヨッシー」とは、どのようなオスザルなのでしょうか。

C群第3位で推定年齢は14才のオスザルです。ヒトの年齢でいえば40代半ば頃で、体格は上位のオスザル2頭と比較すると小柄です。性格は控えめであとなしく、サル寄せ場でもお客様に紹介することが少ないサルです。その理由は、上位の「ロバート」や「スケサン」が中心部にいる間は「ヨッシー」は端の目立たない場所にいるからです。しかし、2頭が中心から離れてくると、どこからともなく中心部付近に現れるのです。常に上位の様子を伺い続けているのです。

ご来園の際にC群が出現していたら「シャーロット」と「ヨッシー」の所在をスタッフにお尋ねください。

スタッフ 推しザル! B群第9位「マルオ」

1頭あとなしいオスザルがいます。そのサルは「マルオ」です。

元々、顔が丸いので「マルオ」という名前がつけられましたが、見た目だけでなく、若い頃から周囲のザルの毛づくろいをするなど、性格もマルく、ヒトに対しても攻撃をしてくることがない懶やかなサルです。

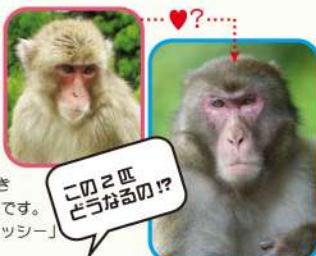
最近では、お客様と一緒に記念写真が撮れるサルとしてテレビで放送され、「マルオ」のファンが増えています。

そんな「マルオ」には毎日の日課があります。10位の「ショット」へ毛づくろいをすることです。

通常は上位のオスザルに対して下位のオスザルが毛づくろいをすることが多いのですが、「マルオ」の場合、ほぼ毎日、自分より下位である「ショット」の姿を見かけると近寄り毛づくろいをするのです。

このような行為はオスザルの間では珍しく、「マルオ」は本当に優しいサルだと思います。

皆さんも是非「マルオ」に会いに来てください。きっと心が癒されると思います。



おしゃべって、
やわらかできるもん…

スタッフ
こぼれ話

B群「オオムギ」

B群の第5位に「オオムギ」というサルがいます。オオムギはC群で生まれ、C群の中で第1位にまでなったオスザルですが、2017年にB群に移籍したことによって下位になりました。



大柄な体格で貴重な体格ですが、性格はおとなしく、周りに流れやすい面があります。現在第1位であるB群の「ヤケイ」が頭角を現し始めた頃に、誰よりも早く「ヤケイ」に接近して仲良くしていました。弟の「ハトムギ」が「オオムギ」の上位にいた頃は、「ハトムギ」が攻撃するサルには「オオムギ」も一緒に攻撃するなど「強い存在に流れられる」という事が多く、私たちスタッフから見ると一見頼りない感じのするサルです。

この「オオムギ」ですが、2022年に入り私たちスタッフから注目をされつつあります。それは、B群の上位のオスザル数頭が次々といなくなる中で、「オオムギ」は順調に順位を上げてあり、このままいけばB群でも第1位になる可能性があるからです。

これまで2つの群で第1位になったサルは『名誉ボス』とされている「ベンツ」のことで、「オオムギ」が今後B群でも第1位になった場合は、この「ベンツ」に並ぶ記録となります。

私たちスタッフの心情としては、『この頼りない感じの「オオムギ」が、あの偉大な「ベンツ」の記録に並ぶとは…。』と複雑ではありますが、今後『頼りになる存在としての「オオムギ」の活躍を期待するばかりです。

帰ってきた! 高崎山サル博士検定

の答えあわせ

問曰③木の上で眠る 答曰①ほほぶくろ

問曰④群の中での在籍年数 答曰①体毛は年1回生え変わります



できたかな? 目指せ! 高崎山サル博士!

